

安田洋史先生の退任記念号に寄せて

経営学会会長 竹 田 賢

安田洋史先生は、2010年4月に本学経営学部教授として着任され、2022年3月にご定年、ご退職されるまで、一貫してアライアンス（組織間関係論）研究に取組まれて多くの研究業績を残されるとともに、学生の教育と研究指導の任に当たられました。

先生は、2011年4月、経営学研究科に開設された「戦略経営・知的財産権プログラム（SMIPRP：Strategic Management & Intellectual Property Rights Program）」の主導的役割を担われ、当該プログラムを担当する先生方と協力一致して、大学院生に対する研究指導を行ってこられました。SMIPRPは、本プログラムに入学する発展途上国の若手税関職員を対象にWCO（世界税関機構）が奨学金を支給し、戦略経営、知的財産権、関税行政の分野を体系的に「英語のみで学習する1年間の修士コース」として位置づけられており、経営学研究科の価値を学内外に留まらず、世界中に発信する大変重要な役割を果たされたことはいふまでもありません。

また、学部では、競争戦略論の授業を担当された他、「企業経営におけるアライアンスとM&A」の研究室として多くのゼミナール学生のご指導にも当たられ、学部、大学院の双方において多大なご貢献をされました。

大学行政における先生のご活躍としては、2017年から2020年の3年間、就職部長を担当された後、2020年から2022年まで経営学部長を務められたことが挙げられます。特に、学部長としての2年間は、これまでに我々が経験したことのない感染症に世界中が見舞われ、学部・大学院の授業ならびに研究活動をいかに継続していくかということに奔走された日々だったと思います。教授会を含むほぼ全ての会議が2年間オンラインという異常事態の中、学部の先生方のご意見を丁寧に聴取され、的確なご判断の下、この厳しい状況を乗り越える道筋を与えて下さったことは、感謝の念に堪えません。さらに、学部、研究科が抱えている様々な問題点を整理され、いくつか解決に導いて下さったことも、先生のリーダーシップと人望があってこそだと思います。

さて、経営学部の発展にご尽力頂いた安田先生がご定年を迎えられたことは誠に残念でなりません。先生のご退任を期に記念の論集を発行し、先生のこれまでのご功績に感謝するとともに、先生の益々のご健勝とご活躍を祈念するものであります。